

岡山県地球温暖化防止行動計画(事務事業編)

(グリーンオフィス推進プログラム)

及び

岡山県環境マネジメントシステム

平成27年度実施結果報告書

平成28年12月

岡山県

I 地球温暖化防止行動計画(事務事業編)及び環境マネジメントシステムについて

県では、事務事業における環境配慮の一層の推進と、温室効果ガス排出量の削減を図るため、第4期のグリーンオフィス推進プログラム（以下「GOP」という。）となる「岡山県地球温暖化防止行動計画（事務事業編）」（以下「事務事業編」という。）を平成23年11月に策定し、「岡山県環境マネジメントシステム」（以下「EMS」という。）の活用により取組を進めている。その平成27年度実績は次のとおりである。

II 目標及び達成状況

1 温室効果ガス排出量の削減目標に対する取組結果

事務事業編では県の事務事業により生じる温室効果ガス排出量の削減目標を設定している。

取組目標	基 準 平成22年度	実 績 平成27年度 (増減率)	目 標 平成28年度 (削減率)
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	83,660	72,429 (△13.4%)	78,640 (△6.0%)

注) 1 排出量は、電力や燃料等の種別ごとに、その使用により排出される温室効果ガスの量を示す係数（排出係数）を乗じて算定する。この排出係数は年度により変動するが、取組の達成状況を明らかにするため、基準年度（平成22年度）の係数を用いて統一的に算定している。

なお、平成27年度排出係数により算定した実績は、78,378 t-CO₂ である。

2 「増減率」は、平成27年度実績と基準年度（平成22年度）の比較

【 参考：排出要因別温室効果ガスの排出状況 】 (単位：t-CO₂)

排出要因	ガスの種類	基 準 平成22年度	実 績 平成27年度	増 減 率
燃 料 の 使 用	CO ₂ , CH ₄ , N ₂ O	14,163	11,759	△17.0%
電 気 の 使 用	CO ₂	67,767	59,034	△12.9%
そ の 他	CO ₂ , CH ₄ , N ₂ O, HFC	1,730	1,636	△5.4%
合 計		83,660	72,429	△13.4%

注) 1 「増減率」は、平成27年度実績と基準年度（平成22年度）の比較

2 「その他」は、公用車のカーエアコンからの漏出、家畜のふん尿、肥料の使用等によるもの

3 温室効果ガスの種類は、CO₂は二酸化炭素、CH₄はメタン、N₂Oは一酸化二窒素、HFCはハイドロフルオロカーボン類

2 各取組目標に対する取組結果

県組織の全ての所属（出先機関等を含む）において、オフィスワークの取組として次の９項目の使用量、排出量等について目標を設けて、取組を行った。

取組項目	基 準 平成22年度	実 績 平成27年度 (増減率)	目 標 平成28年度 (削減率)
電力 (kWh)	108,693,531	96,826,090 (△10.9%)	102,171,919 (△ 6.0%)
自動車燃料 (ℓ)	2,473,894	2,334,356 (△ 5.6%)	2,268,561 (△ 8.3%)
庁舎用燃料(液体) (ℓ)	1,675,100	1,261,597 (△24.7%)	1,571,059 (△ 6.2%)
庁舎用燃料(気体) (m³)	949,334	926,014 (△ 2.5%)	886,264 (△ 6.6%)
複写機用紙 (枚)	115,692,656	126,686,332 (+ 9.5%)	108,701,800 (△ 6.0%)
事務用封筒 (枚)	518,270	419,420 (△19.1%)	489,960 (△ 5.5%)
水道水 (m³)	988,413	876,051 (△11.4%)	908,502 (△ 8.1%)
廃棄物 (kg)	2,249,888	2,045,920 (△ 9.1%)	2,130,576 (△ 5.3%)
グリーン購入	100%	99.9%	100%

注) 「増減率」は、平成27年度実績と基準年度(平成22年度)の比較

Ⅲ 取組の評価等

1 取組の評価

平成11年度から17年間にわたるＧＯＰ及び事務事業編の取組の結果、環境に配慮した事務事業の実施という趣旨が職員に定着し、その成果が得られている。

平成27年度については、基準年となる平成22年度と比べて温室効果ガスが13.4%の減少となり、目標を上回る削減が進んでいる。

オフィスワークの取組項目毎に見ると、「電力」、「庁舎用燃料(液体)」、「事務用封筒」、「水道水」及び「廃棄物」は目標を達成しているものの、「複写機用紙」は課題となっている。

2 今後の取組について

平成27年度の取組成果を踏まえ、引き続き行政の率先行動として、事業者・消費者の立場での環境配慮の取組を強力に進め、事務事業の実施における省資源・省エネルギー、グリーン購入等を図っていく。なお、より実効性のある取組とするため、次の項目について、特に重点的な取組を図る。

1) 各所属（県の事務所等）における改善の取組の強化

各所属においては、EMSに基づくPDCAサイクル（Plan（計画）、Do（実施及び運用）、Check（点検及び是正）、Act（見直し））により継続的な改善を進めるとともに、更なる省エネ・省資源の取組状況のチェック等を行い、取組の強化を図る。

2) 複写機用紙使用量の削減

複写機用紙については、業務効率に配慮しながら、両面印刷、縮小印刷（1枚の用紙に2ページ分を印刷するなど）及び片面使用用紙の裏面利用の徹底によるワンペーパー化等、電子メールの活用等によるペーパーレス化や省力化を推進する。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 総務部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	5,527,635	4,369,263	4,343,047	4,129,001	-25.3%	-5.5%	○
自動車燃料使用量の削減	7,132	6,237	6,206	6,868	-3.7%	10.1%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	312,349	284,188	283,620	311,761	-0.2%	9.7%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	8,397	15,095	14,869	14,686	74.9%	-2.7%	○
複写機用紙使用量の削減	4,997,100	5,306,000	5,079,700	5,433,000	8.7%	2.4%	×
事務用封筒使用量の削減	44,430	48,200	42,400	33,400	-24.8%	-30.7%	○
水道水使用量の削減	38,707	34,727	34,658	35,499	-8.3%	2.2%	×
廃棄物排出量の削減	88,493	66,614	66,414	70,577	-20.2%	5.9%	×

□グリーン購入の達成 ○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

電力使用量、庁舎用燃料(気体)使用量、事務用封筒使用量については、目標を達成することができている。特に事務用封筒使用量については、封筒の再利用を促進することにより、使用量を大幅に削減することができた。目標不達成の項目については、省エネに対する意識向上を図れるように、部内会議等で周知し、各項目の使用量の削減に繋がっていきたい。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 県民生活部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	929,142	997,642	967,307	981,862	5.7%	-1.6%	×
自動車燃料使用量の削減	10,557	10,021	10,387	11,205	6.1%	11.8%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	250	304	264	270	8.0%	-11.3%	×
複写機用紙使用量の削減	4,277,000	3,554,000	4,054,000	4,029,525	-5.8%	13.4%	○
事務用封筒使用量の削減	42,800	44,300	40,851	30,000	-29.9%	-32.3%	○
水道水使用量の削減	7,405	2,719	4,000	5,479	-26.0%	101.5%	×
廃棄物排出量の削減	2,908	4,379	5,587	3,453	18.7%	-21.1%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

公用車の追加配備により自動車燃料使用量が増加するとともに、業務量増に伴い複写機用紙使用量の増加が見込まれるため

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

×

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

オフィスワークの取組については、電力、自動車燃料や庁舎用燃料(気体)使用量など、目標達成できなかった項目があった。
今後とも、県の環境方針に基づくこれまでの取組を継続しつつ、職員の環境意識の向上に向けた各種取組を推進していきたいと考えている。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 環境文化部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	3,891,884	3,330,648	3,330,648	3,325,184	-14.6%	-0.2%	○
自動車燃料使用量の削減	4,320	4,975	4,021	3,589	-16.9%	-27.9%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	31,149	35,610	29,536	37,000	18.8%	3.9%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	623	579	579	473	-24.1%	-18.3%	○
複写機用紙使用量の削減	2,165,000	2,137,250	2,057,020	2,295,250	6.0%	7.4%	×
事務用封筒使用量の削減	39,450	55,750	37,654	25,980	-34.1%	-53.4%	○
水道水使用量の削減	11,586	9,385	9,385	9,015	-22.2%	-3.9%	○
廃棄物排出量の削減	16,089	12,968	12,968	11,172	-30.6%	-13.8%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

--

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

・燃料関係については、業務や気候の関係で増減があり、対応が難しい部分もあるが、更なる削減のため、工夫を行っていく。また、「複写機・封筒」については、昨年度は第1回おかやまマラソンの開催年度であり、事務、事業の増加で大幅に多くなっている。今年度もおかやまマラソンは開催されるが、職員1人1人が意識を持って、削減に努める。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 保健福祉部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	512,507	451,382	456,878	447,437	-12.7%	-0.9%	○
自動車燃料使用量の削減	32,640	23,060	22,853	21,747	-33.4%	-5.7%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	380	420	280	320	-15.8%	-23.8%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	7,411	5,557	5,676	5,189	-30.0%	-6.6%	○
複写機用紙使用量の削減	6,317,000	5,657,550	5,667,550	6,537,050	3.5%	15.5%	×
事務用封筒使用量の削減	38,680	41,300	36,919	49,900	29.0%	20.8%	×
水道水使用量の削減	16,597	8,115	8,060	8,598	-48.2%	5.9%	×
廃棄物排出量の削減	29,471	14,588	14,795	14,661	-50.3%	0.5%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

目標値作成のタイミングでは前年度実績が確定しておらず、実績値の見込みで目標値を作成したが、実際には実績値が見込み値を下回ったもの。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

・各所属において、使用量削減のための取組みが積極的に行われており、半数の項目で前年度よりも使用量を削減することができた。
 ・複写機用紙の使用量については、裏紙利用や両面使用等の取組を行っているものの、事務量の増加もあり前年度実績を上回っている。
 ・事務用封筒についても、再生封筒の利用等の取組を行っているが、事務量の増加もあり前年度実績を上回っている。
 ・水道水使用量が増加しているが、成徳学校でプールの使用を開始したためのもの

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 産業労働部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	3,937,368	3,535,256	3,740,499	3,556,507	-9.7%	0.6%	○
自動車燃料使用量の削減	10,788	9,458	10,041	8,377	-22.3%	-11.4%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	25,615	18,141	24,289	18,794	-26.6%	3.6%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	77,637	64,516	73,338	64,784	-16.6%	0.4%	○
複写機用紙使用量の削減	3,356,959	2,735,000	3,187,919	2,807,500	-16.4%	2.7%	○
事務用封筒使用量の削減	26,201	20,625	25,008	15,500	-40.8%	-24.8%	○
水道水使用量の削減	15,105	13,338	14,087	11,829	-21.7%	-11.3%	○
廃棄物排出量の削減	33,704	29,075	32,214	14,897	-55.8%	-48.8%	○

□グリーン購入の達成 ○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

平成27年度指標目標値を目標数値としたため。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施 所属内のみ
□環境リスクチェックリストによる点検の実施 ○ 点検の結果、不適合事項 無

3 部局長評価

各所属、部全体とも概ね目標を達成できている。
前年比についても減少率が高く、年間を通して使用量削減に取り組むことが出来た。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 農林水産部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	8,792,114	8,401,062	8,352,508	8,083,760	-8.1%	-3.8%	○
自動車燃料使用量の削減	42,218	53,795	39,297	54,267	28.5%	0.9%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	297,570	189,790	189,790	170,663	-42.6%	-10.1%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	329,361	374,417	311,126	390,677	18.6%	4.3%	×
複写機用紙使用量の削減	4,992,915	5,597,600	5,508,484	5,246,220	5.1%	-6.3%	○
事務用封筒使用量の削減	16,894	14,420	14,420	18,500	9.5%	28.3%	×
水道水使用量の削減	265,649	225,682	225,682	219,774	-17.3%	-2.6%	○
廃棄物排出量の削減	448,346	511,101	428,532	398,712	-11.1%	-22.0%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

--

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

有

3 部局長評価

電力使用量については、業務効率化に伴う時間外勤務の縮減や、過去5年の各月の使用量をグラフ化し、毎月比較検討するなどの取組により大きく削減できた所属もある。

複写機用紙については、議会对応・TPPへの対応、予算編成等による業務の増加のため、枚数の削減は非常に困難であったが、各所属での積極的な周知及び取組により、両面・2アップ印刷や裏面利用、プロジェクターの使用による会議資料の簡素化を行い、目標数値を達成することができた。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 土木部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	185,472	191,041	176,198	192,389	3.7%	0.7%	×
自動車燃料使用量の削減	0	36	36	62	-	71.6%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	267	160	190	0	-100.0%	-100.0%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	8,123	184	145	239	-97.1%	29.9%	×
複写機用紙使用量の削減	3,725,500	3,551,500	3,382,500	3,495,000	-6.2%	-1.6%	×
事務用封筒使用量の削減	11,000	11,800	10,499	9,600	-12.7%	-18.6%	○
水道水使用量の削減	10,107	7,258	7,702	10,217	1.1%	40.8%	×
廃棄物排出量の削減	200	200	191	200	0.0%	0.0%	×

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

実績見込みを本年度の目標数値としたところ、実績では見込みよりも下がったため。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

電力については、後楽園の夜間の亭舎利用(貸出)が増加したこと等により、使用量増加となっているが、不要な電気は消す等節電に努めており、微増に抑えている。複写機用紙及び事務用封筒については、各課において裏紙使用、両面印刷が徹底できていることと電子メールや再利用封筒の活用により前年度実績を下回ることができた。燃料、水道水及び廃棄物排出量については、後楽園の亭舎利用(貸出)と、入園者数の増加によるものである。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 出納局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
自動車燃料使用量の削減	92,193	87,645	85,816	83,207	-9.7%	-5.1%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
複写機用紙使用量の削減	875,500	760,000	831,414	784,000	-10.5%	3.2%	○
事務用封筒使用量の削減	600	1,600	572	500	-16.7%	-68.8%	○
水道水使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
廃棄物排出量の削減	0	0	0	0	-	-	-

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

指標を目標数値の上限としたものであるが、実際の運用としては、前年度比2%減を目標に取り組んでいる。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

【複写機用紙使用量の削減】

前年度より僅かに増加しているが、目標数値は達成できている。引き続き、両面印刷及び裏面利用並びにミスコピーをなくすための印刷設定の確認を徹底し、さらには、コピー機付近で印刷単価を表示するなど、コスト意識を高めるための積極的な取組を継続する。

【事務用封筒使用量の削減】

昨年度より大幅に削減されている。引き続き、庁内への発送は、再利用封筒を使うよう呼びかけるとともに、定形外封筒の使用用途を把握し、折りたためるものは定型封筒に入れて郵送するよう周知し、また、書類は、メール送付を行うなどの取組を継続する。

【自動車燃料使用量の削減】

自動車燃料は、全庁が使用するものであり、出納局だけでは削減できるものではないが、毎月の使用量を把握することに加え、公用車予約・管理システムに表示する注意文に、自動車燃料使用量の削減に係る啓発文を追加した。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 議会事務局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
自動車燃料使用量の削減	4,967	3,595	3,595	2,829	-43.0%	-21.3%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
複写機用紙使用量の削減	800,000	765,000	741,860	763,000	-4.6%	-0.3%	×
事務用封筒使用量の削減	2,700	2,500	2,500	2,000	-25.9%	-20.0%	○
水道水使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
廃棄物排出量の削減	0	0	0	0	-	-	-

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

--

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

県議会議員改選に伴い複写機用紙使用量が増加したが、その他の項目は目標を達成しており、環境マネジメントシステムを遵守した取組がなされている。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 人事委員会事務局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
自動車燃料使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
複写機用紙使用量の削減	200,500	182,500	196,000	239,000	19.2%	31.0%	×
事務用封筒使用量の削減	1,600	1,300	1,527	1,600	0.0%	23.1%	×
水道水使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
廃棄物排出量の削減	0	0	0	0	-	-	-

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

公平審査事務の業務増及び採用試験における受験者数増により、複写機用紙及び事務用封筒の使用量増加が見込まれるため。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

不服申立事案の事務処理のため、申立人及び処分者双方への書類送付、人事委員への書類送付、人事委員会資料、準備手続・口頭審理資料、裁決書作成資料に多くの複写機用紙及び事務用封筒を使用した。
平成27年度の採用予定者数増加に伴い、採用募集パンフレット及び募集要項の発送が増えたこと、合格通知の発送数の増及び面接試験の見直しに伴う面接資料の増により、複写機用紙及び事務用封筒の使用量が増加した。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 労働委員会事務局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
自動車燃料使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
複写機用紙使用量の削減	95,000	117,500	112,700	111,500	17.4%	-5.1%	○
事務用封筒使用量の削減	300	500	450	500	66.7%	0.0%	×
水道水使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
廃棄物排出量の削減	0	0	0	0	-	-	-

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

--

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

所属内のみ

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

基準となっている平成22年度と比べ、個別的労使紛争の取扱件数は減少しているものの、各案件の調整回数が増加したことに伴い、申請者、被申請者及び担当審査委員・参与委員等へ書類を郵送する回数が増えた。その結果、事務用封筒使用量は目標を達成できなかったが、複写機用紙使用量については、局内会議でプレビュー画面での確認や裏紙利用・両面印刷の促進等を周知徹底することにより、前年度から約5%使用量を削減し、目標を達成することができた。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 監査事務局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
自動車燃料使用量の削減	411	0	0	0	-100.0%	-	-
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
複写機用紙使用量の削減	157,500	103,000	149,569	138,000	-12.4%	34.0%	○
事務用封筒使用量の削減	100	200	200	200	100.0%	0.0%	○
水道水使用量の削減	0	0	0	0	-	-	-
廃棄物排出量の削減	0	0	0	0	-	-	-

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

前年度より会議の開催が増えるため、会議資料の印刷で複写機用紙の使用量の増加が見込まれる

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

複写機用紙使用量、事務用封筒使用量ともに、目標の範囲内での購入量を達成した。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 企業局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	22,082,627	20,741,992	20,978,495	19,975,908	-9.5%	-3.7%	○
自動車燃料使用量の削減	22,237	21,059	20,698	21,614	-2.8%	2.6%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	503	1,634	476	0	-100.0%	-100.0%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	185	76	174	77	-58.4%	1.3%	○
複写機用紙使用量の削減	693,000	909,500	822,710	950,000	37.1%	4.5%	×
事務用封筒使用量の削減	2,000	4,000	1,908	3,250	62.5%	-18.8%	×
水道水使用量の削減	1,128	1,576	1,052	1,458	29.3%	-7.5%	×
廃棄物排出量の削減	24,842	21,869	23,744	13,996	-43.7%	-36.0%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

所属長のみ

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

複写機用紙の使用量が目標を超えているので所属長研修内であらためて各所属に周知を行った。
 事務所用封筒は例年各所属での購入は無いが、H27年度は各所属とも在庫が無くなったため購入した。
 水道使用量については昨年の実績を下まっている。
 自動車燃料については基準年の実績を下まっている。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 備前県民局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	4,138,672	3,530,224	3,530,224	3,084,696	-25.5%	-12.6%	○
自動車燃料使用量の削減	121,892	96,163	96,164	95,590	-21.6%	-0.6%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	423	5,282	1,182	810	91.5%	-84.7%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	1,772	1,952	1,746	1,826	3.0%	-6.4%	×
複写機用紙使用量の削減	6,323,786	6,087,100	6,087,100	5,906,500	-6.6%	-3.0%	○
事務用封筒使用量の削減	41,765	20,728	17,537	12,750	-69.5%	-38.5%	○
水道水使用量の削減	10,247	8,857	8,782	8,664	-15.4%	-2.2%	○
廃棄物排出量の削減	16,673	21,029	18,954	18,452	10.7%	-12.3%	○

□グリーン購入の達成 ○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施 ○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施 ○

点検の結果、不適合事項 無

3 部局長評価

・平成27年度年間実績は、食堂利用者の増減に影響される庁舎用燃料(気体)使用量を除き、年度目標を達成し、計画的な取組ができたと考える。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 備中県民局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	6,213,287	6,441,695	6,144,819	5,988,758	-3.6%	-7.0%	○
自動車燃料使用量の削減	179,559	137,405	167,139	132,463	-26.2%	-3.6%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	133,306	87,487	126,406	87,647	-34.3%	0.2%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	2,238	4,020	3,803	3,671	64.0%	-8.7%	○
複写機用紙使用量の削減	7,781,833	8,169,000	7,929,180	7,685,250	-1.2%	-5.9%	○
事務用封筒使用量の削減	35,394	32,000	33,782	31,500	-11.0%	-1.6%	○
水道水使用量の削減	15,228	15,912	15,196	14,490	-4.8%	-8.9%	○
廃棄物排出量の削減	39,581	45,114	42,998	42,246	6.7%	-6.4%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

・目標数値を設定した年度当初は、前年度実績が未確定であったので、平成27年3月24日付け新工温第369号で通知があった「目標設定に係る指標値」を目標数値として設定したため、結果的に自動車燃料、庁舎用燃料(液体)、事務用封筒の3項目については前年度実績を上回ることとなった。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

・全ての項目において、本年度目標を達成しており、各所属におけるEMSへの取り組みが効果的になされていると考えられる。
 ・また、各所属において、研修や環境リスクの高い事務への取り組みも適正に実施されていることを確認した。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 美作県民局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			達成状況
				数値	増減率		
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	3,290,449	3,391,244	3,343,077	3,261,090	-0.9%	-3.8%	○
自動車燃料使用量の削減	173,048	122,908	161,078	113,870	-34.2%	-7.4%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	39,763	20,167	37,704	15,394	-61.3%	-23.7%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	37,511	30,380	35,434	27,217	-27.4%	-10.4%	○
複写機用紙使用量の削減	6,577,333	6,202,000	6,382,740	6,214,000	-5.5%	0.2%	○
事務用封筒使用量の削減	39,067	31,500	37,288	27,600	-29.4%	-12.4%	○
水道水使用量の削減	14,391	10,419	13,421	9,695	-32.6%	-6.9%	○
廃棄物排出量の削減	21,797	20,809	20,833	15,278	-29.9%	-26.6%	○

□グリーン購入の達成

×

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

- ・電力使用量……平成24年度の美作岡山道路開通に伴い、道路照明の電気使用が発生したことによる増加分を考慮に入れたため。
- ・電力使用量以外…前年度からの目標設定方法の変更に伴い、指標値を目標値としたため。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

・概ね前年度実績を下回ることが出来た。引き続き、削減に向けた取組みを行っていきたい。
 複写機用紙使用量については、①平成26年度末に発生した高病原性鳥インフルエンザに係る業務の増加②所属によって翌年度分を予め購入したこと等が実績増加の要因である。研修や会議で具体的取組みを呼び掛ける等、節減に努める。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 教育庁

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	前年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	27,503,251	26,085,671	25,898,039	25,484,984	-7.3%	-2.3%	○
自動車燃料使用量の削減	46,587	39,218	40,349	39,927	-14.3%	1.8%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	536,922	481,798	480,007	419,602	-21.9%	-12.9%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	306,033	317,510	305,709	302,623	-1.1%	-4.7%	○
複写機用紙使用量の削減	27,244,062	36,954,181	35,435,441	38,920,037	42.9%	5.3%	×
事務用封筒使用量の削減	66,540	72,900	77,693	81,190	22.0%	11.4%	×
水道水使用量の削減	448,841	401,254	401,736	409,958	-8.7%	2.2%	×
廃棄物排出量の削減	1,111,318	1,092,958	1,059,507	1,053,790	-5.2%	-3.6%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

平成27年度高校総体推進室、津山中学校が新設となり、箇所数が増加したため

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

有

3 部局長評価

複写機用紙使用量については、増加傾向にある。また、購入のタイミングもあるが、事務用封筒の購入量も増えている。水道水使用料については、洗浄処理の必要な遺物の増加や漏水など特殊要因によって増加した。
 今後は、削減に向け、いい取り組みの周知を行うなどして削減を進めていきたい。

岡山県環境マネジメントシステム 平成27年度年間実績報告書

部局名 警察本部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H22) 実績	H26年度 実績	H27年度 目標	H27度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	21,630,352	20,249,445	20,046,951	18,314,514	-15.3%	-9.6%	○
自動車燃料使用量の削減	1,722,844	1,753,385	1,603,680	1,738,741	0.9%	-0.8%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	296,853	233,354	231,020	199,606	-32.8%	-14.5%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	157,810	113,884	112,745	114,282	-27.6%	0.3%	×
複写機用紙使用量の削減	34,586,400	35,815,000	35,098,700	35,131,500	1.6%	-1.9%	×
事務用封筒使用量の削減	102,250	91,000	86,177	75,450	-26.2%	-17.1%	○
水道水使用量の削減	132,377	130,531	120,872	131,375	-0.8%	0.6%	×
廃棄物排出量の削減	413,297	382,880	346,124	388,487	-6.0%	1.5%	×

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

--

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

×

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

平成27年度中は、各所属において、裏紙の再利用やライトダウン運動への参加等、省エネに向けた各種取組を推進したが、一部の取組項目については、目標の達成には至らなかった。
 サミット警備への対応等の影響も考えられるが、今後、未達成となった項目について、結果の分析等を行い、その原因を把握した上で、今後の削減に向けた対策を進めてまいりたい。